

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

令和元年 8月29日

計画の名称	2 松山地域における総合的な水環境向上のための基盤整備対策の推進																				
計画の期間	平成26年度～平成29年度（4年間）	交付対象	松山市																		
計画の目標	<p>現在、松山市では『まちづくりのための下水道』という視点から、快適な暮らし、安全なまちづくり、美しい環境づくり、健全な経営と良質なサービス提供の4つの基本方針に基づいて、市民が快適な生活環境と快適な水環境を享受できる基盤整備を行ない、地球にやさしく、災害に強い地域の形成を目指しております。</p> <p>そこで本計画においては以下の点を計画目標に掲げ、社会資本整備計画事業を推進してまいります。</p> <p>①公衆衛生の向上・生活環境の改善、②公共用水域の水質保全</p>																				
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道処理人口普及率の向上</li> <li>・排出BODの削減</li> </ul>																				
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H26当初)</th> <th>中間目標値 (H28末)</th> <th>最終目標値 (H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 下水道処理人口普及率の向上＝計画最終目標年における処理区域内人口／最終目標年の行政人口</td> <td>61.0 %</td> <td>62.2 %</td> <td>63.0 %</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 排出BODの削減率＝（浄化槽が下水道に転換した戸数×平均使用人数×人当たりBOD平均排出量）／平成24年度下水道処理区域内にある浄化槽から排出される総BOD量</td> <td>0.0 %</td> <td>10.9 %</td> <td>14.5 %</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H29末)	① 下水道処理人口普及率の向上＝計画最終目標年における処理区域内人口／最終目標年の行政人口	61.0 %	62.2 %	63.0 %		② 排出BODの削減率＝（浄化槽が下水道に転換した戸数×平均使用人数×人当たりBOD平均排出量）／平成24年度下水道処理区域内にある浄化槽から排出される総BOD量	0.0 %	10.9 %	14.5 %	
	定量的指標の現況値及び目標値				備考																
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H29末)																		
① 下水道処理人口普及率の向上＝計画最終目標年における処理区域内人口／最終目標年の行政人口	61.0 %	62.2 %	63.0 %																		
② 排出BODの削減率＝（浄化槽が下水道に転換した戸数×平均使用人数×人当たりBOD平均排出量）／平成24年度下水道処理区域内にある浄化槽から排出される総BOD量	0.0 %	10.9 %	14.5 %																		
全体事業費	合計 (A+B+C)	5,301百万円	A 5,181百万円 B 0 C 120百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.3%																

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
庁内の公共下水道事業関連部署により、事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を行う。	令和元年度
	公表の方法
	市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費（百万円）	備考
											H26	H27	H28	H29		
2-A1-1	下水道	一般	松山市	直接	-	汚水	新設	未普及解消下水道整備事業（管渠）	管渠整備（中央・西部・北部・北条処理区内） A=130.8ha	松山市					4,072	
2-A1-2	下水道	一般	松山市	直接	-	汚水	増設	未普及解消下水道整備事業（ポンプ場）	清水汚水中継ポンプ場 ・自家発電設備 保免第2汚水中継ポンプ場 ・主ポンプ電気設備、機械設備	松山市					142	
2-A1-3	下水道	一般	松山市	直接	-	汚水	増設	水質保全下水道事業	中央浄化センター ・凝集剤注入設備 西部浄化センター ・水処理施設土木、機械設備、電気設備、建築設備 北条浄化センター ・機械濃縮設備	松山市					676	

2-A1-4	下水道	一般	松山市	直接	—	汚水	増設	資源循環形成下水道事業（増設）	北条浄化センター ・機械濃縮機械設備、電気設備	松山市						251	
2-A1-5	下水道	一般	松山市	直接	—	汚水 雨水	全種	施設計画の見直し	・松山公共下水道全体計画及び事業計画の変更 ・第4次松山市下水道整備基本構想策定	松山市						41	
合計															5,181		

**B 関連社会資本整備事業**

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H26	H27	H28	H29				
合計															0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

**C 効果促進事業**

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H26	H27	H28	H29				
2-C1-1	下水道	一般	松山市	直接	—	分流式	下水道普及促進関連事業	末端部の下水道管渠整備 （中央・西部・北部・北条処理区内）A=1.6ha	松山市							107	
2-C1-2	計画・調査	一般	松山市	直接	—	普及啓発	下水道普及啓発事業	・公共下水道接続推進チラシ ・下水道の適正使用等啓発チラシ	松山市							0	
2-C1-3	下水道	一般	松山市	間接	—	分流式	私道共同排水設備助成事業	私道共同排水設備助成 N=2件	松山市							13	
合計															120		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
2-C1-1	浄化センターに流入する下水道管渠の整備の促進することにより、公衆衛生の向上・生活環境の改善を図る。															
2-C1-2	下水道が供用告示された後に必要となる、負担金、使用料、宅内排水設備の切替などを分かり易く説明したパンフレットを作成し、工事説明会などで配布することにより、住民の下水道事業に対する理解を深めてもらい、水洗化などへの取組みを促す。															
2-C1-3	浄化センターに流入する私道の共同排水設備に助成し、公共下水道への接続を促進することにより、公衆衛生の向上・生活環境の改善を図る。															

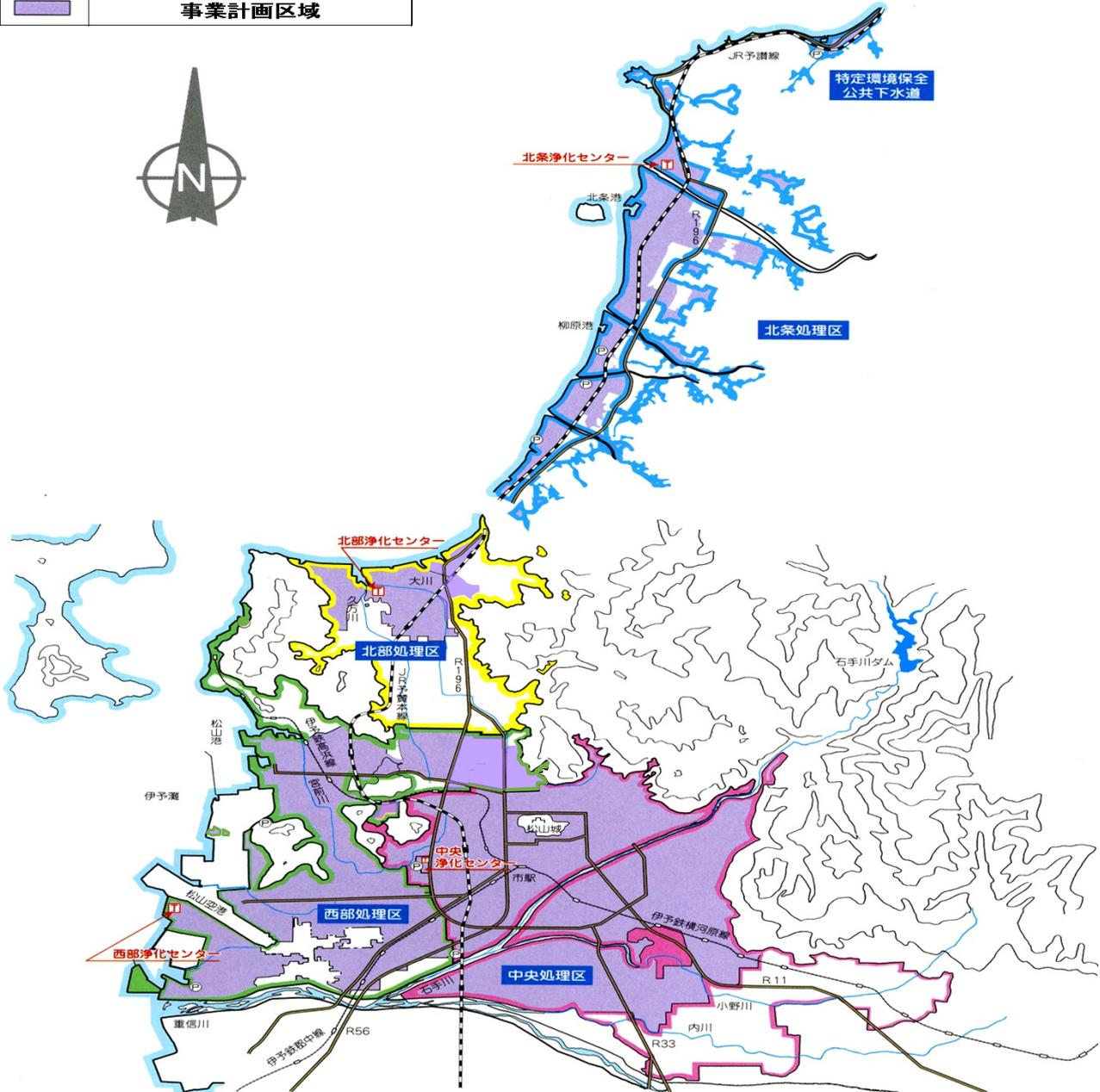
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>汚水面整備を促進させたことにより、下水道処理人口普及率が2.2%増加（H26:61.0%⇒H29末:62.3%）し、公衆衛生の向上、生活環境の改善が図られた。</li> <li>公共下水道接続推進チラシなどを用いて公共下水道への接続を積極的に推進したことにより、公共下水道への接続が促進され、排出BODの削減（H29末削減率：26.5%）につながり、公共用水域の水質保全に寄与した。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及率 の向上）	最終目標値	63.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	平成28年度に「松山市下水道事業経営戦略」を策定し、投資規模を見直したため。
		最終実績値	62.8%		
	指標②（排出B ODの削減）	最終目標値	14.5%	目標値と実績値 に差が出た要因	投資効果や水質改善効果の高い地区の優先的整備に努めたため。また、下水道工事説明会や下水道への接続勧奨訪問等の住民説明の場で、公共下水道接続推進チラシなどを有効活用し、公共下水道への接続を積極的に推進したため。
		最終実績値	25.2%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		下水道の整備によって、水質改善が進んだ河川では、メダカ（絶滅危惧Ⅱ類）の生息が確認されるほど水質改善が図られており、また、下流域の親水公園などではイベントが多数開催されており、市民の憩いの場となっている。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
松山市の下水道処理人口普及率は、平成29年度末時点の全国平均値（78.8%）と比べて低いため、今後も次期計画を策定し、普及率の増加を図る。					

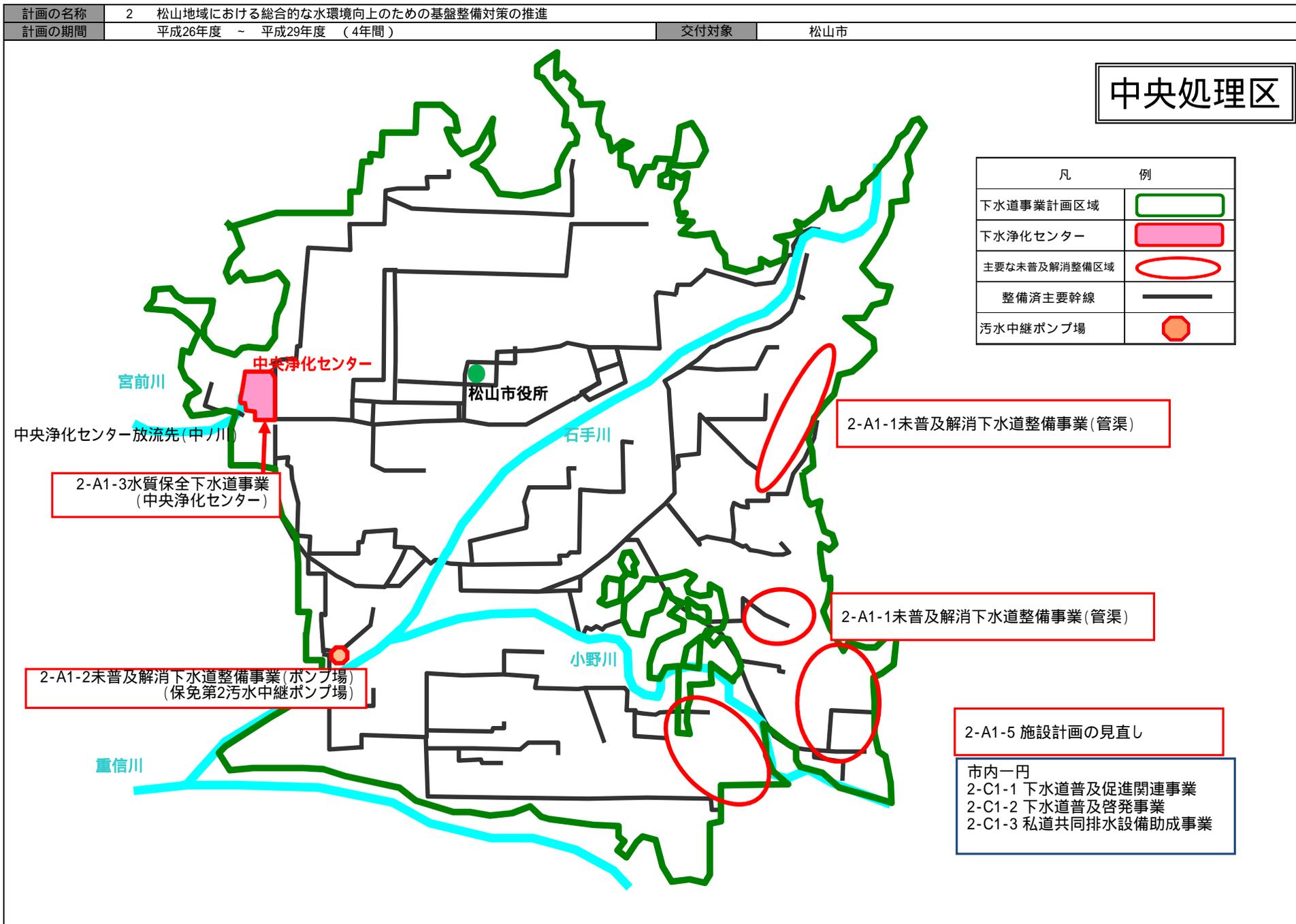
【参考図面】 社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	2 松山地域における総合的な水環境向上のための基盤整備対策の推進		交付対象	松山市
計画の期間	平成26年度 ~ 平成29年度（4年間）			

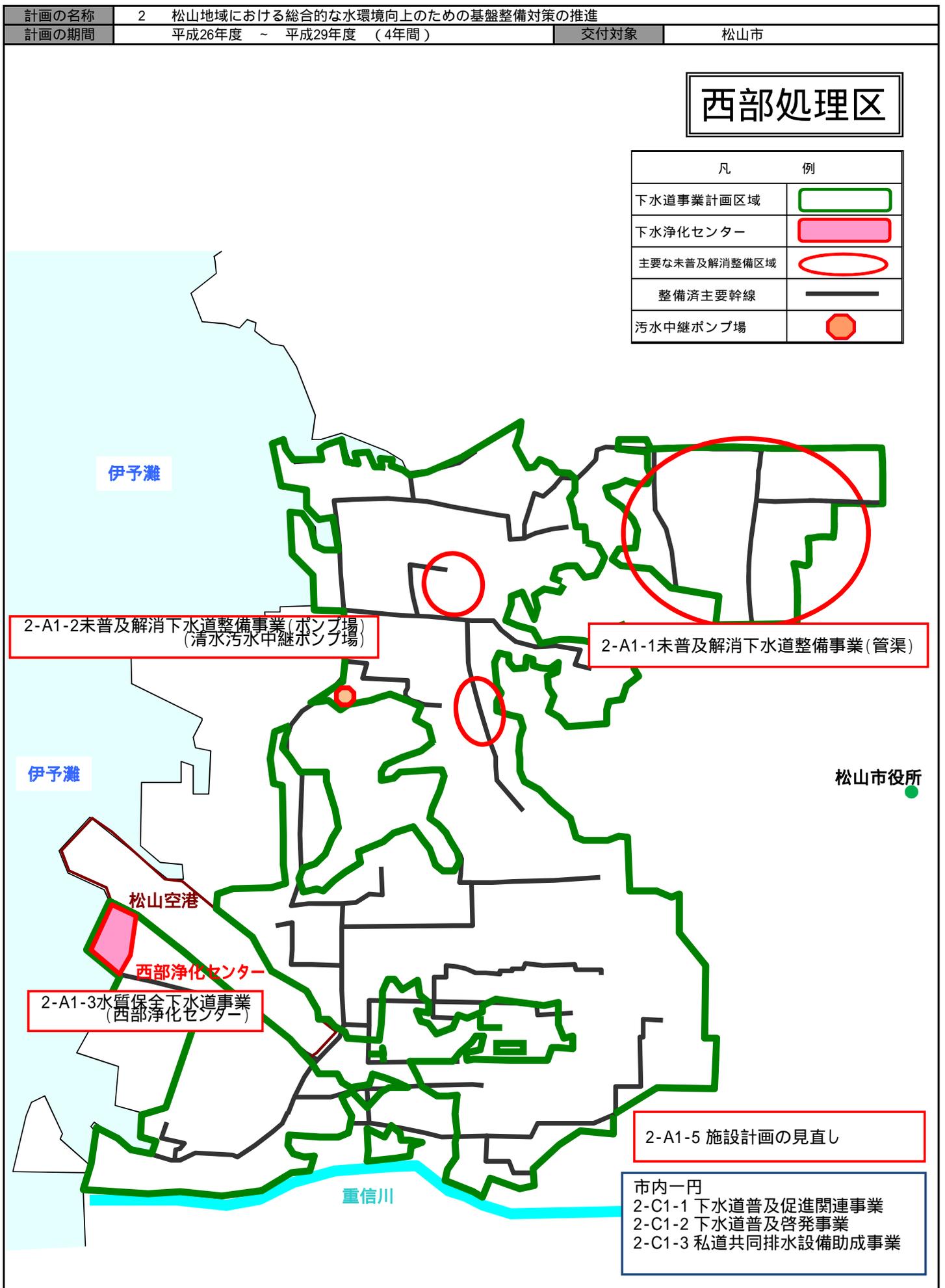
凡 例	
	中央処理区全体計画区域
	西部処理区全体計画区域
	北部処理区全体計画区域
	北条処理区全体計画区域
	事業計画区域



【参考図面】 社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）



【参考図面】 社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）



【参考図面】 社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	2 松山地域における総合的な水環境向上のための基盤整備対策の推進	交付対象	松山市
計画の期間	平成26年度 ~ 平成29年度（4年間）		

北部処理区



2-A1-3 水質保全下水道事業  
(北部浄化センター)

2-A1-1 未普及解消下水道整備事業(管渠)

凡	例
下水道事業計画区域	
下水浄化センター	
主要な未普及解消整備区域	
整備済主要幹線	

2-A1-5 施設計画の見直し

- 市内一円
- 2-C1-1 下水道普及促進関連事業
  - 2-C1-2 下水道普及啓発事業
  - 2-C1-3 私道共同排水設備助成事業

【参考図面】 社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	2 松山地域における総合的な水環境向上のための基盤整備対策の推進		
計画の期間	平成26年度 ~ 平成29年度（4年間）	交付対象	松山市

北条処理区



2-A1-4資源循環形成下水道事業(増設)  
(北条浄化センター)

2-A1-1未普及解消下水道整備事業(管渠)

北条浄化センター

2-A1-1未普及解消下水道整備事業(管渠)

2-A1-5 施設計画の見直し

市内一円  
2-C1-1 下水道普及促進関連事業  
2-C1-2 下水道普及啓発事業  
2-C1-3 私道共同排水設備助成事業

凡	例
下水道事業計画区域	
下水浄化センター	
主要な未普及解消整備区域	
整備済主要幹線	